

- 「考える葦」
  - 
    人間という存在の矛盾
    - その存在は小さい
    - 思考できるのは偉大
    - ⇒ 「人間は考える葦」
  - 人間の偉大さと惨めさ
    - それらは同時に存在する
    - 理解できれば自己認識できる
- 信仰と理性の調和
  - 
    神の存在
    - 純粋に理性だけで証明するのは難しい
    - かといって信仰が不合理ではない
  - 「パスカルの賭け」
    - 神を信じる＝永遠の幸福
    - 神を信じない＝大きな損失なし
    - ⇒ 信仰への道を開く理性の使い方
- 実存的苦悩と救い
  - 苦しみの根源
    - 神から離れた「原罪」の状態
    - 心の虚しさは埋まらない
  - 
  - 「無限への憧れ」こそが神への憧れ → キリストによる救い
  - キリスト教＝人間の実存的問題への具体的な答え